アイデアメモ（記入できるところだけ記入していただければ十分です（未記入の部分はヒアリングの途中にお聞きします））

［０］発明概要：以下のフォーマットに従い発明を簡潔に記載して下さい。

　Ａ　　　　という構成により、

　Ｂ　　　　という作用が生じ、

　Ｃ　　　　（できる）という効果が生まれる。

例：

　扇風機にタイマー機能を設けるという構成により、

　時間が来れば自動的に扇風機が停止するという作用が生じ、

　切り忘れを防止することができるという効果が生まれる。

［１］技術分野（発明の属する技術分野を記載する）ex画像処理、集積回路

［２］背景技術

（１）発明の前提となる背景技術の概要と、発明に関する技術要求を記載する。（・・・という技術が知られている。・・・という技術が求められている）

（２）過去の関連出願、発表、既知の公知技術（製品情報、特許出願、文献）等があれば、その情報を記載する。（例えば特許公報・・・には、・・・ということが記載されている）

［３］発明が解決しようとする課題※必須※

（１）従来の技術とその課題を図面を用いて分かり易く説明する。

（従来の技術には、・・・という問題がある。例えば図１に示す・・・では、・・・しようとすると、・・・となってしまうという問題がある。本発明は、この・・・となってしまう点を解決する）

（２）上記課題が複数ある場合、発明が解決しようとする課題がどれなのかを明示する。

［４］課題を解決するための手段（実施例）

(実施例は、概要 → 詳細の順に段階的に記載する。実施例は2つ以上できるだけ多く記載する。)

(1) 発明ポイントを箇条書きで簡潔に記載する

(2) 従来例に対し、新たに考案した構成／方法が何なのかを、"図面(平面図、断面図、プロセスフロー)"を用いて明示する。シミュレーション、制御系の発明の場合、出来るだけフローチャートで表現する。

(3) 新たに考案した部分を中心に、その動作(処理)と課題の解決に至る原理(理由)を説明する。

[5] 効果 (従来例に対し、発明を適用することにより良くなった事項について上記課題との関連性を意識して記載する)

　（本発明では、・・・という構成をとったので、・・・という作用が生じる。このため、・・・という効果が得られる）